

群馬県臨床検査技師会の救急検査研究班の発足と活動について

諏訪部 桂¹⁾⁴⁾ 田野 光敏¹⁾⁴⁾ 立澤 春樹²⁾⁴⁾ 高橋 茜²⁾⁴⁾ 高瀬 麻由美³⁾⁴⁾

- 1) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 検査課
- 2) 日本赤十字社 前橋赤十字病院 臨床検査科部・病理診断科部
- 3) 社会福祉法人恩賜財団済生会 群馬県済生会前橋病院 検査科
- 4) 一般社団法人群馬県臨床検査技師会 救急検査研究班

[背景] チーム医療、働き方改革、タスクシフト/シェアが推進されている今日、臨床検査技師もこの動きに適切に対応することが求められる。救急医療の現場は臨床検査技師が介入できる場として注目されており、この分野における臨床検査技師のスキル向上が求められている。

[救急検査研究班の発足] 群馬県臨床検査技師会(群臨技)は、臨床検査技師が救急業務を迅速かつ適切に実施できる技術や知識を学習できる機会を会員へ提供すること、認定救急検査技師の資格取得を目指す会員をサポートすることを目的に、令和6年6月の群臨技理事会の承認をもって救急検査研究班を発足させた。

[構成] 班員選出は理事会主導で実施、認定救急検査技師の受験者増加に繋げることも視野に入れたため群馬県内で確認できている7人の資格取得者のうちの5人を班員として任命した。班員は、細菌・病理を含む検体系検査、生理機能系検査、夜勤・当直など広くカバーできる経験者で構成され、班長は認定救急検査技師の一期生かつ緊急臨床検査士取得者とした。

[活動] 研究班発足後4か月の期間に、研究班会議を2回実施、群臨技会誌への研究班記事の掲載、群臨技新人研修会で研究班紹介の発表、学術論文査読と審査を行った。今後の活動として12月には認定救急検査技師と緊急臨床検査士の資格の講演、令和7年2月には主に救急室での静脈路確保とそのルートからの採血を想定した講義・実習の開催を決定している。本学会発表当日には、それまでの活動実績や課題・展望などを提示することを予定している。

[結語] 救急検査研究班は、救急医療の現場において臨床検査技師がチーム医療のメンバーとして遺憾なく力が発揮できるように、会員に対して教育面でのサポートを行っていく。